

ナナミちゃんの農事通信

山梨県北杜市明野町で「雨と風と太陽と」
 「土と人情」に囲まれた。ナナミ
 ちゃんの「私、土の子」奮闘記

カカト庭畑へ。ハナもブドウ棚のパイプを伝い歩く
 02.27撮影
 03.09今年初のネスミ!!玄関に残骸残す



1 畑仕事始まる



↑02.27庭畑に畝作り、牡蠣殻石灰に堆肥や肥料をまき、マルチを張って種から育てた畑のレタス苗を移植。



←マルチ穴に水遣りレタス苗を植える。ノ母屋前の畑、絹サヤの苗も育っている。



←02.28レタス苗の続きに、サニーレタスとルッコラにレタス、野菜サラダ用の種を蒔く

春一番、畑仕事の定番と言えば「ジャガイモ植え」ですが、その前に秋蒔きのレタス苗などを、新しい畝に移植する作業に追われています。雪も3月10日早朝の淡雪が最後なのでしょ

2 「ナナミちゃんのお宿」は？

02.13三菱冷凍庫120ℓを結婚記念日プレゼントで購入、お宿の食材保存に活躍!! グリーンピースに真竹筍、カボチャなど色々

←コンニャク芋の皮をむきサイコロ状にカット ↓500gごとにパック、下処理済で簡単に作れます。



満杯です



時々思い出したように「冷凍庫が欲しいヨ」言い続け、言われ続けられ。冷蔵庫3台にそれぞれ90ℓほどの冷凍室があるじゃない、と。必要ならば買おう!! 良い夫婦関係が、おいしい料理を作り出す。かな?...

←冬越して熟成したカボチャの皮を剥き、300gごとにパック、カボチャの冷スープに調理してお出します。



目次

1 畑仕事始まる	1
2 「ナナミちゃんのお宿」は?	1
3 今の作業は	2
4 三月のお味	2

ハイライト

啓蟄・次候3月10~14日「桃始笑 ももはじめてさく」「笑」を「さく」と読むのは、昔は花が咲くことを「笑う」「笑む」と言ったため。よって、全体では、桃の花が咲き始める頃という意味になる。桃の原産地は中国の黄河流域で、そこから各地へ伝わる過程で変種が生じた。日本に伝来した時期は定かではないが、『古事記』『日本書紀』に見えることから、それらの編纂時より前であることは間違

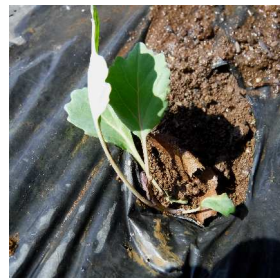


桃の絵柄には色々なものが、婚礼などの祝いに使われた、古伊万里の皿中央に桃の絵柄。

いない。中国では、枝にそって沢山の花をつけること、および多くの実をみらせることから、桃は子孫繁栄の象徴として神聖視されていた。また強い生命力が宿るとの考えから、魔除けの力があるとも認められた。こうした思想は日本でも受け入れられ、イザナギノミコトが黄泉国の軍勢を撃退するのに桃を使用したとある。わが家の桃の木、数年前の大雪で消毒出来ずに枯れ、記憶は色あせ桃色は写真だけに残り。

3 今の作業は

春分になれば冬越しした野菜に花が咲き、連休に向けての畑仕事が忙しくなりますが、その前にジャガイモ植えの畝作りや、冬越しした野菜苗の移植に、初夏に収穫する野菜の種蒔きをしたりと、冬眠から覚めたように動き回る季節に。また一年で一番野菜の収穫が少なくなる端境期、さらに寒さの影響が追い打ちに。



03.04 ↑畑に畝を作り、←種から育てた大きめの苗を選び、キャベツ苗5本と残りはブロッコリー苗を植えた。
←キャベツ苗は茎が薄い赤紫色で葉の切れ込みが小さい。上段のブロッコリー苗は葉の切れ込みが大きい。



↑キャベツ苗などを植えた畝に、霜や風に遮光を兼ねてネットを張る。
03.04 ↓長ネギのネットを外す。



←左側二畝に霜除けネットを掛けてあり、成長の差がハッキリと現れた。



↑03.04雨降る前にネットを外し



↑03.06晴れ!原木にネット戻す



∟裏の林で伐採して乾燥させておいたキノコ原木に、トトがドリルで穴を開け→カカが種菌駒を打込む。しばらく腕が痛い



∟1000駒の種菌を打込んだ椎茸原木をビニールシートにのせ、水で湿気を与え保温のためにシートで包む。梅雨入り頃まで水遣りをし、菌糸の繁殖を促す。

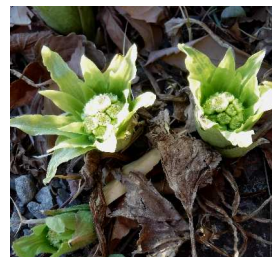
4 三月のお味



↑03.03わが家の屋敷、左上から酢辛子沢庵を薄切りし出し汁漬け、ヤマクラゲと人参に縮厚揚げ煮物、茹でた昔菜のワサビ和え、電気釜で炊いた赤飯。お土産にいただいたヤマクラゲが主菜!! 古くなった頃に保存豆を消費、ササゲで赤飯、朝昼晩と一週間ほど続いたお味。豆ご飯お好きですか? この後もトウ豆ご飯・グリーンピースご飯などが続いた。



↑「ヤマクラゲ」ステムレタス(茎レタス)の1mほどに育った茎を、細割に切って乾燥。
↓ヤマクラゲと人参に厚揚げの煮物、味も染み歯応え良い



03.03「露味噌」→丹波黒豆味噌で甘味噌を作り、刻んだ露の茎を入れ混ぜ合せ、練りながら水分を飛ばす。↓露味噌パック完成

